

(別紙書式)

2026年耳鼻咽喉科月間優秀企画賞 申請書

作成日

2026年3月24日

地方部会名	山形県地方部会
代表者名	伊藤 吏
活動のタイトル	行政・メディア連携による山形県耳鼻咽喉科啓発活動の実践
アピールポイント	市民公開講座で好酸球性副鼻腔炎と末梢性顔面神経麻痺を取り上げ、専門領域の可視化と早期受診行動の促進を達成した。また、テレビ広報により花粉症重症化ゼロ作戦を広域に発信し、予防・初期治療の普及を推進した。さらに山形市SUKSK事業と連携した多層的戦略により、地域全体への波及効果を実現した。難聴対策の啓発活動として「難聴の方との話し方のコツ」をまとめたチラシを作成した。
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	<p><b>① 市民公開講座の開催による疾患啓発（資料1）</b> 市民公開講座「お顔とお鼻のトラブル早期発見！生活を守る耳鼻科の最新知識」を、2026年3月22日に日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会山形県地方部会および山形大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座の共催、山形市の後援のもと開催した。講演Ⅰ「気づいたら早めの受診を！笑顔を守る顔面神経麻痺のお話」（山形大学 後藤崇成）、講演Ⅱ「鼻づまりの真犯人？！最近増えている新しい副鼻腔炎」（山形大学 渡邊千尋）を実施した。特に、末梢性顔面神経麻痺が耳鼻咽喉科の診療領域であることを明確に周知できた点は重要であり、早期受診行動の促進に寄与する啓発効果が得られた。質疑応答では多数の質問が寄せられ、後遺症や治療選択に対する具体的関心の高さが示された。 参加者は39名。</p> <p><b>② 行政事業との連携による参加促進モデル</b> 山形市健康ポイント事業「SUKSK(スクスク)」と連携し、市民公開講座への参加を健康ポイント付与対象とした。本事業は生活習慣改善を目的とした先進的取り組みであり、「第12回健康寿命をのぼそう！アワード」厚生労働大臣最優秀賞を受賞している。行政施策と医療啓発を接続することで参加インセンティブを創出し、従来参加が難しかった層の取り込みにもつながった点は、再現性の高い有効なモデルと考えられる。</p> <p><b>③ テレビ媒体を活用した「花粉症重症化ゼロ作戦」の広域啓発と行動変容への取り組み</b> スギ花粉症シーズン前のタイミングを捉え、「花粉症重症化ゼロ作戦」としてテレビ広報を実施した。フジテレビ系列およびNHK系列の2局にて千葉真人（山形大学）がインタビューに応じ、山形県における花粉飛散予測、初期療法による症状抑制、治療選択、セルフケアについて解説した。視聴者数の多いテレビ媒体を活用することで、単発の講座にとどまらない広域的かつ即時性の高い啓発が可能となり、地域全体の受診行動変容への波及効果が期待される。</p> <p><b>④ 難聴患者のQOL向上を目指した「難聴の方との話し方のコツ」パンフレットによる啓発活動（資料2）</b> 難聴のある方が日常生活で直面する困難や、聞き取りやすい話し方の工夫を家族・医療従事者・地域住民に周知し、周囲の理解と対応を促す啓発活動を展開した。患者本人のみならず、家族や医療従事者、地域社会への教育も重要であるとの考えのもと、「難聴の方との話し方のコツ」をまとめたチラシを作成した。耳鼻咽喉科月間を契機に、今後はさらに広い分野に発信することで、難聴のある方のQOL向上と社会的理解の促進に寄与する実践的な啓発モデルの構築を目指している。</p>

耳鼻咽喉科月間 2026.3.1- 3.31

市民公開講座



命と機能を守る  
耳鼻咽喉科

お顔とお鼻のトラブル早期発見！  
生活を守る耳鼻科の最新知識

毎日の健康づくりで  
ポイントをためよう！



2026年3月22日(日)14:30~15:45

山形大学医学部50周年記念講堂 (基礎棟 1F)

参加無料、会場案内は裏面をごらんください

司会

伊藤 吏 先生

山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授

講演1 「気づいたら早めの受診を！  
笑顔を守る顔面神経麻痺のお話」

後藤 崇成 先生

山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科 病院講師

講演2 「鼻づまりの真犯人？！  
最近増えている新しい副鼻腔炎」

渡邊 千尋 先生

山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教

質問コーナー

講演内容や日頃の疑問点についてお気軽にご質問ください。



一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会  
Japanese Society of Otorhinolaryngology Head and Neck Surgery

共催：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会山形県地方分会  
山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座  
後援：山形市



# 難聴の方との話し方のコツ

～ちょっとした気遣いが大切です～

## 1. ゆっくり、はっきり



早口だと聞き取れません。区切って、語尾までしっかり話しましょう。

## 2. 穏やかな声で



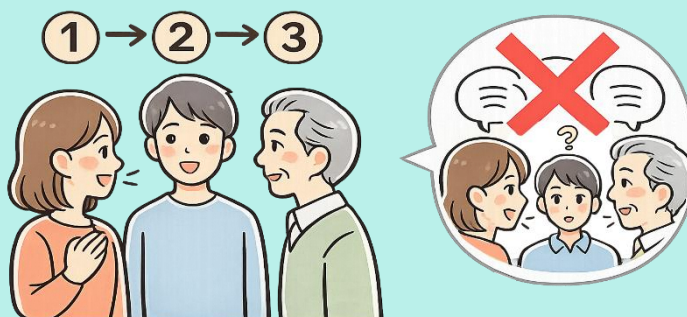
声が大きすぎるとかえって聞き取りにくくなります。

## 3. 顔を向けて



口元や表情も大切な情報源です。

## 4. 一人ずつ順番に



一度に話しかけられると聞き取れません。

## 5. 話す前に合図を



急に話しかけられると、混乱します。自分に話しかけられていると気づかせてください。

## 6. 静かな場所で



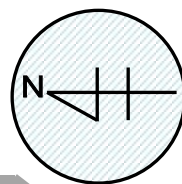
雑音が多い所、反響する場所では、聞き取りにくくなります。

# 聞き返しには、笑顔で対応

ジェスチャーや筆談も有効です

# 山形大学医学部 キャンパスマップ

至112号



バス停  
(桜田新橋)



来院者用  
駐車場  
(無料券配布)



立体駐車場

バス停 (大学病院)



病院正面玄関

駐車場入口

中庭

附属病院

至山形駅

裏入口

北側入口

会場

50周年記念講堂  
基礎棟 1F

入口

臨床研究棟

基礎棟

会場受付にて来院者用駐車場の  
「無料券」をお配りします。

至体育館  
(行止り)